

まちづくり交付金 事後評価シート

北勢地区(案)

平成21年10月

三重県いなべ市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名		三重県		市町村名		いなべ市		地区名		北勢地区		面積									
交付期間		平成19年度～平成21年度		事後評価実施時期		平成21年度		交付対象事業費		106百万円		国費率 0.396									
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ実施した事業	基幹事業	道路(市道阿第93号線道路改良事業、市道治第23号線道路改良事業、市道阿第118号線道路改良事業、地域生活基盤施設(阿下喜駅前広場等整備事業))																		
		提案事業	地域コミュニティバス利用促進PR事業																		
		当初計画から削除した事業	なし																		
		新たに追加した事業	まちづくり活動推進事業(地域住民交流活性化事業)																		
		交付期間の変更	平成19年度～平成21年度																		
		指標	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響																		
		指標1	北勢地域コミュニティバスの利用者数の向上	単位	人/年	基準年度	H17	目標年度	H21	従前値	88,788 (自主運行バス)	数値	124,494	評価値	124,494	1年以内の達成見込み	あり	効果発現要因(総合所見)	北勢地域コミュニティバス事業により利用料金が100円/回と低料金化したこと、停留所を増加したことによる利便性の向上により利用者が増加した。	フォローアップ予定時期	H22年4月
		指標2	阿下喜駅の利用者数の向上	単位	人/年	基準年度	H17	目標年度	H21	従前値	90,000	数値	128,585	評価値	128,585	1年以内の達成見込み	あり	効果発現要因(総合所見)	新駅舎建設による利便性向上と駅前広場整備によりロータリーなどが確保され、キスアンドライドが推進した。また、北勢線高速化に向けたリニューアル事業により案内・阿下喜間の乗車時間が短縮されたことにより利用者が増加した。	フォローアップ予定時期	H22年4月
		指標3	阿下喜温泉の利用者数の向上	単位	人/年	基準年度	H18	目標年度	H21	従前値	90,000 (H18年度見込み)	数値	149,185	評価値	149,185	1年以内の達成見込み	あり	効果発現要因(総合所見)	北勢地域コミュニティバス事業並びに北勢線利用促進事業の効果により利用者が増加。地域市民のみならず、藤原岳登山者や近郊都市部からの来場者も多く、日帰り旅行としてのレジャー効果もあった。	フォローアップ予定時期	H22年4月
		3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	駅ロータリーやアクセス道路舗装整備したことにより、駅への送迎車の交通がスムーズになった。																	
その他の数値指標2	阿下喜の町中を散策するウォーキング大会やラン大会など阿下喜を起点としたイベントが開催されるようになり、市内外からの来町者が増え、賑わい再生が長りつつある。																				
その他の数値指標3	三岐鉄道北勢線や北勢地域コミュニティバスを利用し、町中を散策する高齢者の姿が見られるようになった。																				
4) 定性的な効果発現状況	定性的な効果	阿下喜の町中を散策するウォーキング大会やラン大会など阿下喜を起点としたイベントが開催されるようになり、市内外からの来町者が増え、賑わい再生が長りつつある。																			
	効果発現状況	阿下喜の町中を散策するウォーキング大会やラン大会など阿下喜を起点としたイベントが開催されるようになり、市内外からの来町者が増え、賑わい再生が長りつつある。																			
	効果発現状況	阿下喜の町中を散策するウォーキング大会やラン大会など阿下喜を起点としたイベントが開催されるようになり、市内外からの来町者が増え、賑わい再生が長りつつある。																			
5) 実施過程の評価	モニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた																			
	住民参加プロセス	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できなかった																			
	持続的なまちづくり体制の構築	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できなかった																			
実施内容												今後の対応方針等									

様式2-2 地区の概要

北勢地区(三重県いなべ市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
生活基盤を充実させ、人々の交流を醸成し、地域の賑わいを再生するまちづくり ①公共交通機関の充実 ②住民交流イベントを活用した賑わい再生		北勢地域コミュニティバスの利用者数の向上	単位:人/年	88,788 (自主運行バス)	H17	98,400	H21	124,494	H21
		阿下喜駅の利用者数の向上	単位:人/年	90,000	H17	100,000	H21	126,585	H21
		阿下喜温泉の利用者数の向上	単位:人/年	80,000(H18年度算込み) 114,712(H18年度実績)	H18	90,000 135,691(H20年度実績)	H21	149,195	H21

○関連事業
市道阿第114号線道路改良事業

■基幹事業(道路)
市道阿第93号線道路改良事業

■基幹事業(道路)
市道阿第118号線道路改良事業

○関連事業
阿下喜温泉施設整備事業

○関連事業
赤川改修事業

○関連事業
赤川改修事業

○関連事業
北勢地域コミュニティバス事業
・地域活性化イベント補助事業

○提案事業
(まちづくり活動推進事業)
・北勢地域コミュニティバス利用促進PR事業

■基幹事業(道路)
市道第23号線道路改良事業

駅前整備し、キスアンドライドが可能となったことと北勢線リニューアル計画により西桑名駅までの所要時間が短縮されたことから乗車数が増え、自主運行バスから北勢地域コミュニティバス事業へ事業転換し、狭幅道路の改良並びに路面舗装の機能向上により利便性が向上し、乗車数が増え、駅前ロータリーやアクセシブル道路網を整備したことにより、駅への送迎車両の交通がスムーズになった。

・阿下喜の町中を散策するウォーキング大会やマラソン大会など阿下喜を起点としたイベントが開催されるようになり、市内外からの来町者が増え、賑わいが戻りつつある。

・「にざわい再生」の基本インフラ整備は整ったが、高齢化社会並びに医師不足による病院閉鎖が社会問題となる中、いなべ総合病院への交通手段の充実を図り、地域医療の中心施設としての重要性を高める必要がある。

【効果持続施策】

- ①にざわい再生 中心施設として集客数を伸ばす「阿下喜温泉」の更なる利用促進
- ②北勢線リニューアル計画と呼応する北勢線利用促進
- ③北勢地域コミュニティバス事業の利便性の向上→平成22年度より福祉バス(無料バス)化

【新たなまちづくり課題への取組】

- ・「定住自立圏等民間投資促進交付金」等を活用し、いなべ総合病院の設備強化や交通手段の充実を図る。

まちの課題の変化

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)